

マイクロデータにおける種類／利用制限／料金／手法の概要について  
(過去に提示した資料を取りまとめたもので最新情報は不明。)

## <米国>

パブリックユースファイルの提供と調査票情報の利用の2通りの利用状況が掲載されていた。

日本との比較で注目すべき点は

- 利用制限の無いパブリックユースファイルが存在する。
- 調査票情報の利用に関しては、連邦政府職員として扱われ、利用場所がオンサイトに限定される。

### <<<<パブリックユースファイルの提供>>>>

#### 1 取組体制

センサス局

#### 2 統計調査の種類

人口住宅センサスの1%と5%のPUMSの2種類

#### 3 利用制限・制約

なし。

#### 4 料金

無料 (CD等の媒体は有料)

#### 5 手法

各種コーディングの他、現時点で我が国では用いられていないスワッピングなどを行っている。

## <<<<調査票情報の利用>>>>

### 1 取組体制

センサス局

### 2 統計調査の種類

数十種類（パブリックユースファイルで公開できない経済系データ、研究利用しやすく加工された 43 のリサーチデータ等）

### 3 利用制限・制約

- ・利用場所はセンサス局指定のオンサイト施設に限定。
- ・オンサイト施設を利用するためには連邦政府職員として雇用される必要がある（雇用としての宣誓、教育訓練、守秘義務履行の宣誓と宣誓供述書への署名が求められる）。
- ・研究目的であって、センサス局にメリットがあることが求められる。
- ・名簿としての利用は不明。

### 4 料金

無料

### 5 手法

企業名等を削除

(その他)

### ○ ICPSR

- ・ミシガン大学では匿名データを提供。
- ・大学等の民間の研究機関及び政府機関の一部の統計調査から寄贈された 6300 の調査研究に関する匿名データが提供対象（政府機関で提供しているパブリックユースファイル又は調査票情報との違いについては未精査）。
- ・利用のためには所属する大学等機関において ICPSR へ加盟する必要あり（会費制）。所属する研究者自体は無料。
- ・HP からダウンロードすることが可能。

## ＜カナダ＞

パブリックユースファイルの提供、オーダーメイド集計、調査票情報の利用の3通りの利用状況が掲載されていた。

日本との比較で注目すべき点は

- パブリックユースファイルは、ライセンス取得が必要であり、ライセンス認定は、「マイクロデータ提供委員会」が行う。
- プログラム送付型のリモート集計により、オーダーメイド集計サービスが行われている（主に研究用）。
- 調査票情報の利用に関しては、連邦政府職員として扱われ、利用場所がオンサイトに限定される。また、利用料金が必要。

### ＜＜＜＜パブリックユースファイルの提供＞＞＞＞

※ カナダ統計局では PUMFs と DLI（Data Liberation Initiative）の2種類のパブリックユースファイルを提供している。

#### ○ PUMFs の提供

##### 1 取組体制

カナダ統計局

##### 2 統計調査の種類

センサスを初めとする 22 種類

##### 3 利用制限・制約

利用のためにはライセンス契約書による合意が必要。ライセンス認定は、「マイクロデータ提供委員会」が行う。利用目的の制限は不明。

##### 4 料金

有料。1 ファイルで 1000~3000 カナダドル。アカデミックディスカウント有り (50%off)。

##### 5 手法

各種コーディングの他、現時点で我が国では用いられていないノイズ注入、スワッピングなどを行っている。

○ DLI (Data Liberation Initiative) による提供

1 取組体制

カナダ統計局

2 統計調査の種類

百超の種類 of データ

3 利用制限・制約

年間ライセンス料を支払う高等教育機関のスタッフ及び学生が利用可。学術研究目的に限定。

4 料金

有料。大規模機関は年会費 12,000 カナダドル。その他の機関は 3000 カナダドル。

5 手法

各種コーディングの他、現時点で我が国では用いられていないノイズ注入、スワッピングなどを行っている。

**<<<<オーダーメイド集計>>>>**

1 取組体制

カナダ統計局

2 統計調査の種類

数種類 (統計) のデータ

3 利用制限・制約

研究計画書の提出を行い、カナダ統計局からの承認されることが必要 (研究目的)。高等教育機関等に制限するのかなど利用者に求められる制限については不明。

4 料金

有料 (金額不明)

5 手法

プログラム送付型のリモート集計方式

## <<<<調査票情報の利用>>>>

### 1 取組体制

カナダ統計局と大学の連携による取組（大学はカナダ統計局の一部との位置付け）

### 2 統計調査の種類

十数種類のデータ

### 3 利用制限・制約

- ・カナダ統計局と大学が管轄する委員会による研究計画書の承認（研究目的）
- ・利用場所はカナダ統計局指定のオンサイト施設に限定。
- ・個票を直接利用するためには連邦政府の職員として扱われる必要あり（詳細手続き不明）。合成ファイルを間接利用するためであっても覚書が必要となる。
- ・結果について報告義務を負う。

### 4 料金

直接利用は1か月 3500 カナダドル。間接利用は1か月 5500 カナダドル。

### 5 手法

データの削除等については不明。

## <ドイツ>

絶対的匿名データ（完全に匿名化されたもの）の提供、事実上の匿名データ（科学用・事実上の匿名化がなされているもの）の提供、オーダーメイド集計、調査票情報の利用の4通りの利用状況が掲載されていた。

日本との比較で注目すべき点は

- 匿名データについては、①絶対的匿名データと②事実上の匿名データの2種類が作成されており、①はライセンス制。②は研究目的に限定（一部の機関の利用は限定、その他は不明だが名称からは限定されていることが想定される）  
絶対的匿名データの学校での利用は無料であるが、その他は料金が必要。
- オーダーメイド集計サービスはプログラム送付型で、SAS、SPSSなどが対応（有料）
- 調査票情報の利用に関しては、利用場所がオンサイトに限定される。

### <<<<絶対的匿名データ>>>>

※ パブリックユースファイル(PUFs)と高等教育機関向けの Campus Files(CF)の2種類有り。それぞれの匿名化の程度については不明。

#### 1 取組体制

ドイツ連邦統計局と州統計局

#### 2 種類

不明

#### 3 利用制限

パブリックユースファイル(PUFs)はライセンス取得が必要。Campus Files(CF)はライセンス不要。

#### 4 料金

パブリックユースファイル(PUFs)は有料（詳細は不明）。Campus Files(CF)は無料。

#### 5 手法

匿名データは、各種コーディングの他、現時点で我が国では用いられていない攪乱などを行っている。

## <<<<事実上の匿名データ>>>>

### 1 取組体制

ドイツ連邦統計局、州統計局、マンハイム分析センター

### 2 種類

不明（複数）

### 3 利用制限

ドイツ連邦統計局、州統計局からの提供はライセンス取得が必要（名前からすると、研究目的に限定されているようであるが、詳細は不明）。

マンハイム分析センターから提供されているものは、学術研究目的に限定。

### 4 料金

有料（詳細は不明）

### 5 手法

匿名データは、各種コーディングの他、現時点で我が国では用いられていない攪乱などを行っている。

## <<<<オーダーメイド集計>>>>

### 1 取組体制

ドイツ連邦統計局、州統計局

### 2 統計調査の種類

不明

### 3 利用制限・制約

不明

### 4 料金

有料（金額不明）

### 5 手法

- ・プログラム送付型（SAS、SPSS）のリモート集計
- ・委託型のオーダーメイド集計

## <<<<調査票情報の利用>>>>

### 1 取組体制

ドイツ連邦統計局、州統計局

### 2 統計調査の種類

不明

### 3 利用制限・制約

- ・利用者について、設置当初は臨時雇用による公務員化が必要であったが、現時点における状況は不明。また、利用目的の制限も不明。
- ・利用場所はオンサイト施設に限定。(詳細は不明)

### 4 料金

有料 (詳細は不明)

### 5 手法

データの削除については不明。



## <イギリス>

準匿名データ（完全な秘匿でないが、一定の秘匿処理がなされているもの）の提供、オーダーメイド集計、調査票情報の利用、ビジネスレジスター情報の利用（オーダーメイド集計）の4通りの利用状況が掲載されていた。

日本との比較で注目すべき点は

- 準匿名データの提供は、学術研究・高等教育目的の他、商業目的でも利用が認められる。  
この提供の料金は、学術研究・高等教育は無償であるが、商業目的は有料。
- オーダーメイド集計サービスも大学で行われており無償（大学が実施しているため、研究目的に限られたサービスのようである）

### <<<<準匿名データの提供>>>>

- UKDA (The U K Data Archive)

- 1 取組体制

- エセックス大学

- 2 種類

- 調査研究データを含め数千規模のファイルを提供

- 3 利用制限

- 学生・教員での利用、商業目的での利用が可能。いずれもライセンス取得が必要。

- 4 料金

- 教員・学生は無料。商業目的の場合は有料。

- 5 手法

- 詳細は不明であるが、完全な秘匿措置を取っていない。

- CCSR(Cathie Marsh Centre for Census and Survey Research)

- 1 取組体制

- マンチェスター大学

## 2 種類

センサスから作成された個人と世帯の2種類のデータ。データの内容によって複数種類ある。

## 3 利用制限

数種類のパターン有り、①非営利かつ学術目的ではライセンス所得が必要、②非学術目的の場合は契約書への署名が必要。その他については詳細不明。

## 4 料金

教員・学生は無料。商業目的の場合は有料。地方政府等も有料。

## 5 手法

詳細は不明であるが、完全な秘匿措置を取っていない。

(その他)

### ○ CeLSIUS (個別プロジェクトと想定される)

- ・ロンドン大学において、センサスデータをパネル化したデータに特化した形でオーダーメイド集計サービスを提供。
- ・個人レベルのデータは削除
- ・研究計画書の提出により承認が必要 (研究目的)
- ・オンライントレーニングの受講が必要
- ・公表する場合は事前承認
- ・イギリス国内の学術機関における教職員・学生は無料

### ○ IDBR (Inter-Departmental Business Register ; 詳細は不明)

- ・ONS においてビジネスレジスターを使ってオーダーメイド集計サービスを提供。
- ・中央・地方政府職員のほか、政府と契約を結んだ者等も利用可。
- ・有料
- ・行政記録情報を主要な元情報とするが、詳細は不明。